
2011年度(平成24年3月期) 決算説明会資料

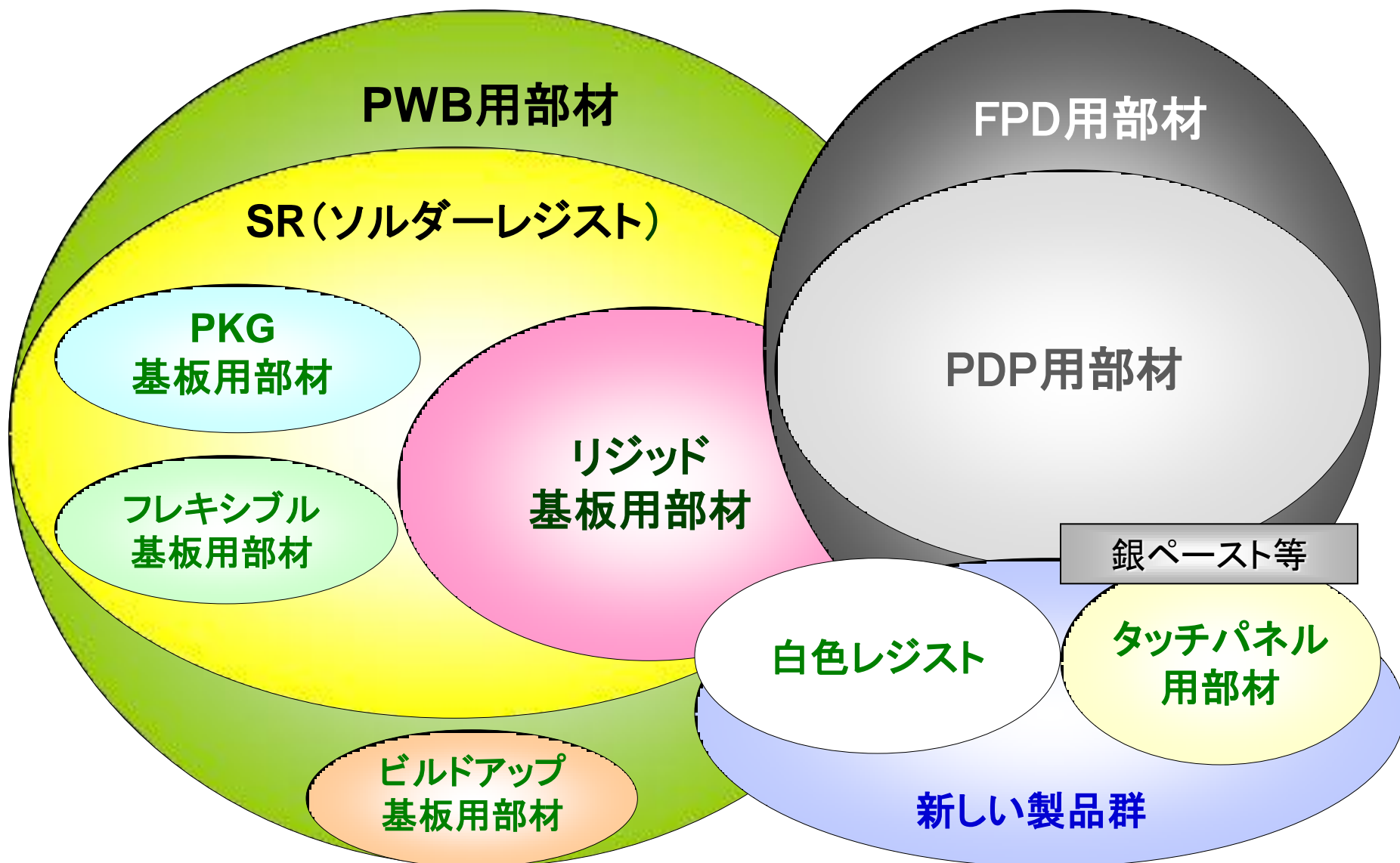
太陽ホールディングス株式会社

2012年05月14日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

当社グループの製品分野



用語	内容
PWB用部材 (Printed Wiring Board)	プリント配線板用部材
FPD用部材 (Flat Panel Display)	フラットパネル・ディスプレイ用部材
PDP用部材 (Plasma Display Panel)	プラズマディスプレイ・パネル用部材
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト(レジストインキ)
PKG基板用部材 (Package)	モジュール基板

1. 2011年度 連結業績概要
2. 2012年度 連結業績予想
3. 中期経営計画の進捗状況

1. 2011年度 連結業績概要

2011年度累計 連結業績

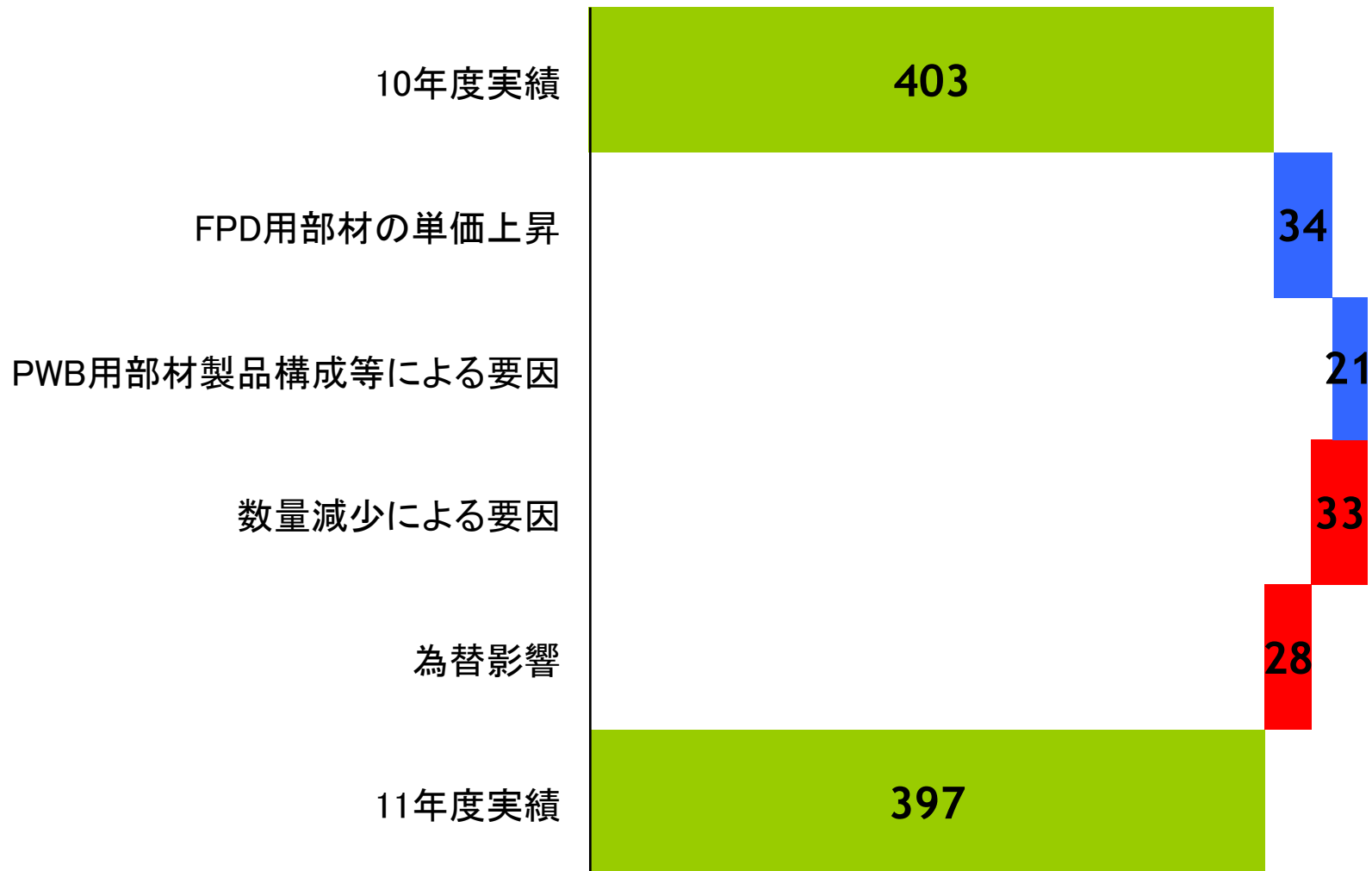
(単位:百万円)

項目	10年度 累計	11年度 累計	増減額	増減率	2月7日 業績予想
売上高	40,366	39,797	△569	△1.4%	40,300
営業利益	5,380	4,040	△1,340	△24.9%	4,300
経常利益	5,316	4,027	△1,289	△24.3%	4,200
当期純利益	3,402	2,502	△900	△26.5%	2,500
円・USDレート	85.8	79.3	△6.5	△7.6%	78.7

2011年度実績 減収要因(前期比)

売上高

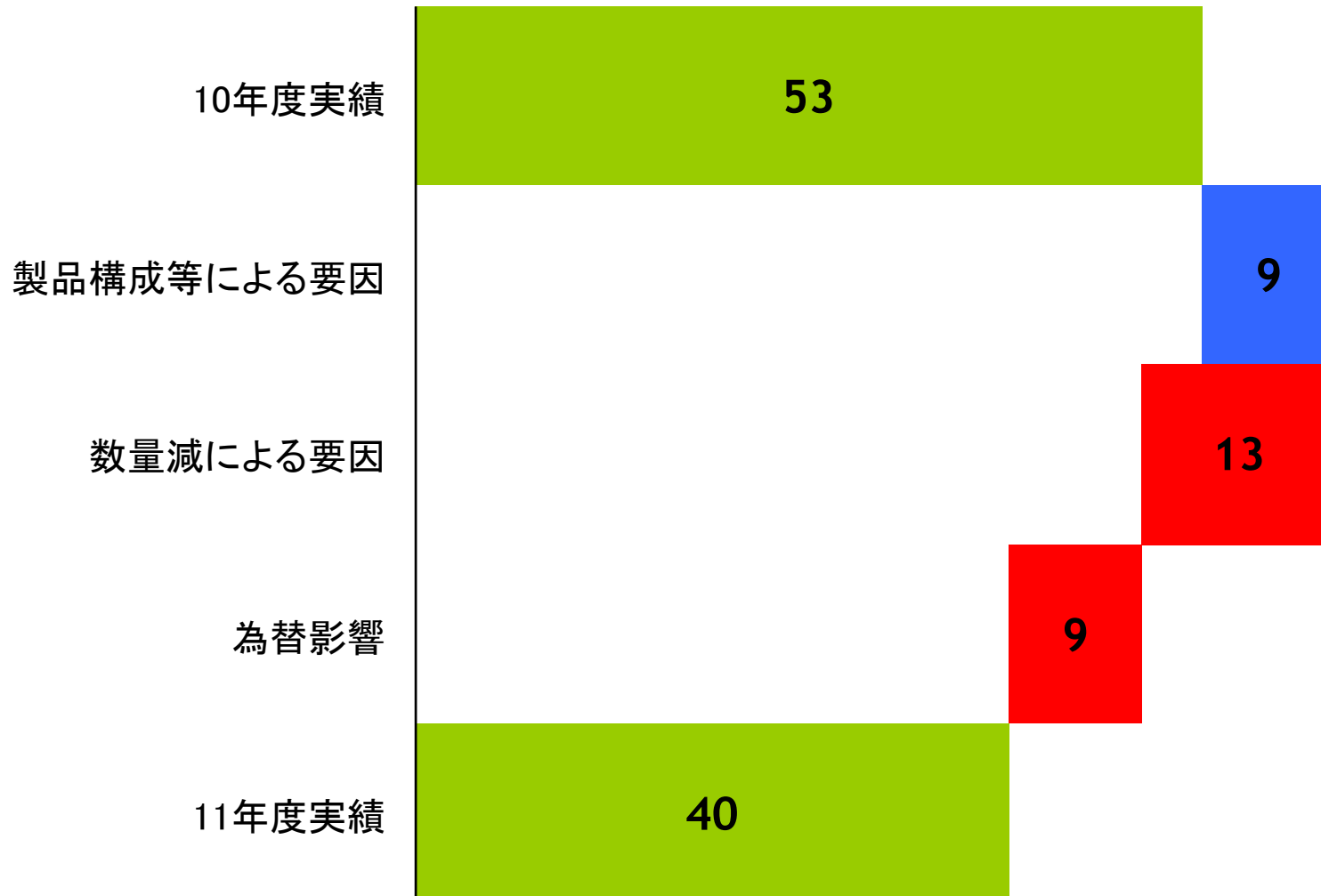
(単位:億円)



2011年度実績 減益要因(前期比)

営業利益

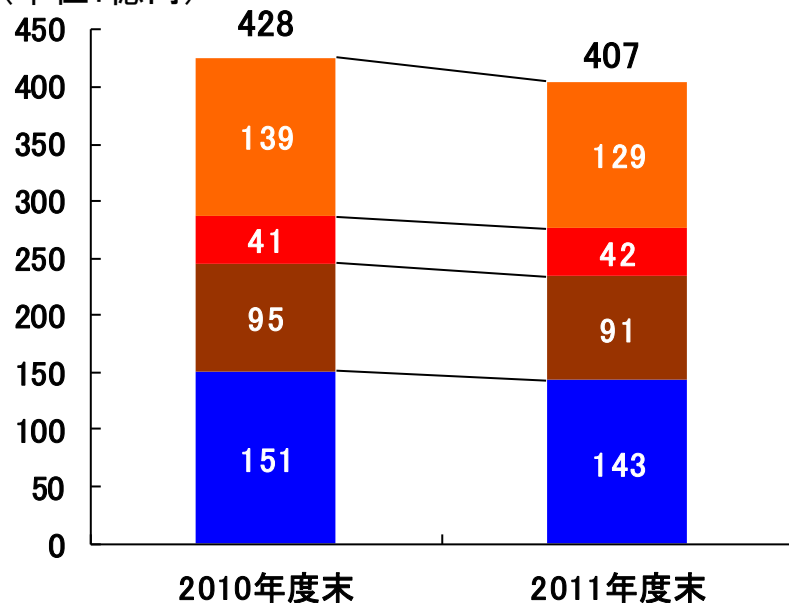
(単位:億円)



2011年度 BSの概況

資産

(単位:億円)

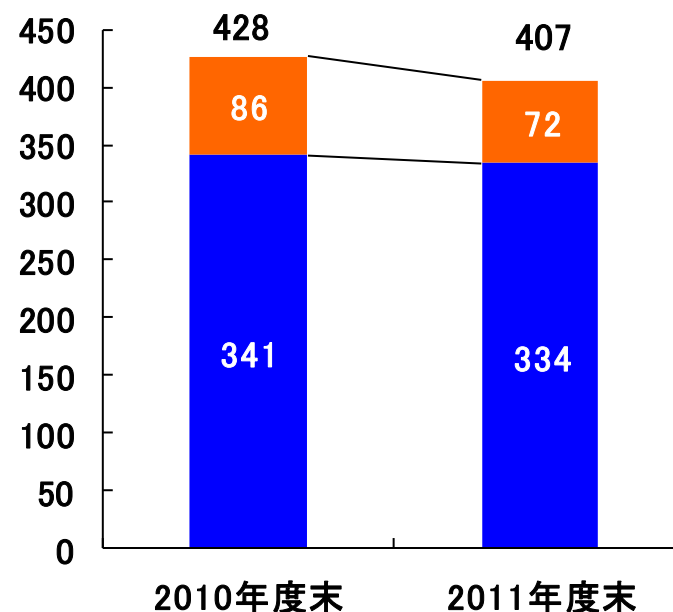


- 固定資産
- その他流動資産
- 棚卸資産
- 現金・預金

- 現金・預金の減少
- 固定資産の減少は、減価償却及び関係会社出資金評価損による

負債・純資産

(単位:億円)



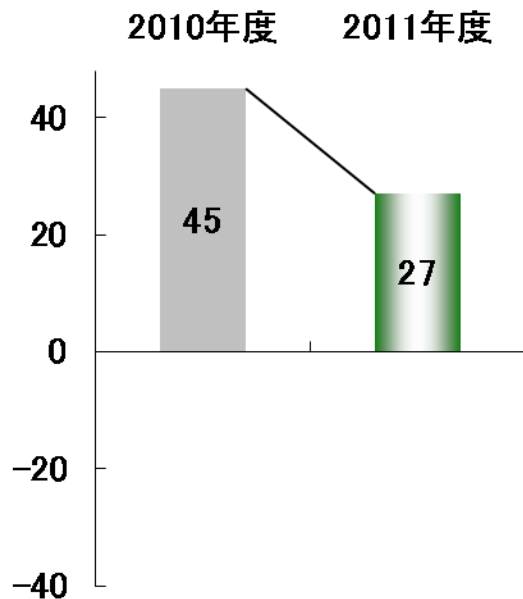
- 純資産
- 負債

- 負債は、仕入債務、未払金・未払法人税等の減少
- 純資産は、配当金が純利益を上回っているなどの要因で減少

2011年度 CFの概況

営業CF

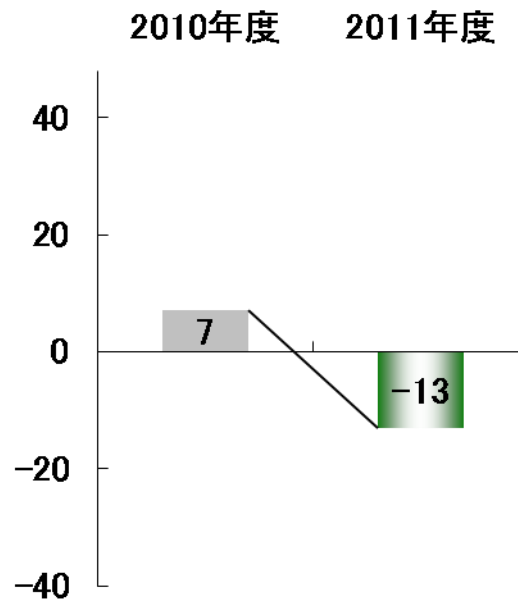
(単位:億円)



- 仕入債務等負債の減少によるCFの減少
- 営業利益の減少

投資CF

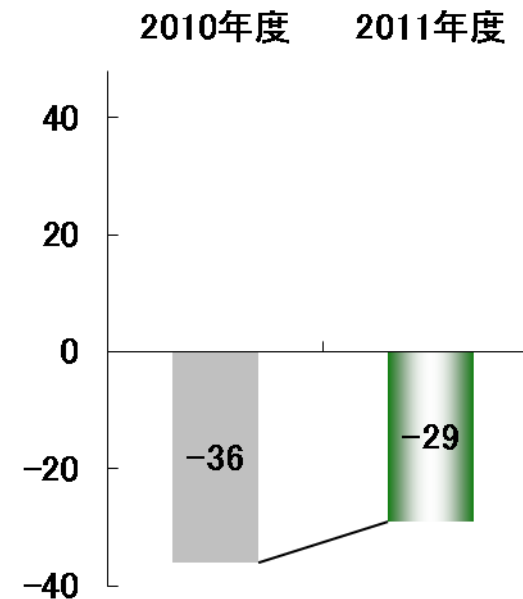
(単位:億円)



- 定期預金の預入によるCF減少
- 投資水準は前年と同規模

財務CF

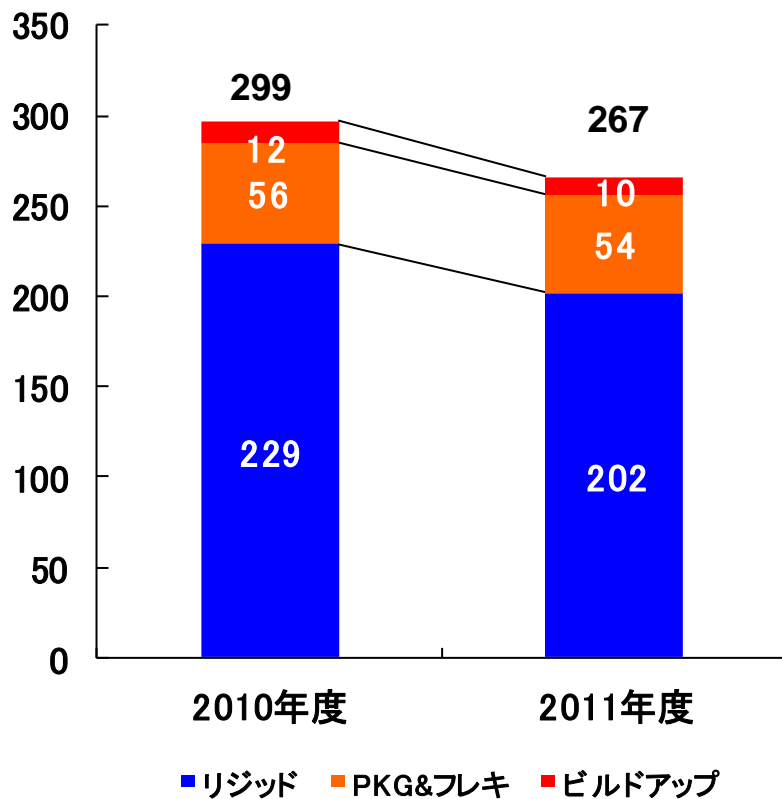
(単位:億円)



- 前期は自社株購入約13億円実施
- 記念配当による配当金増加5億円

売上高

(単位:億円)



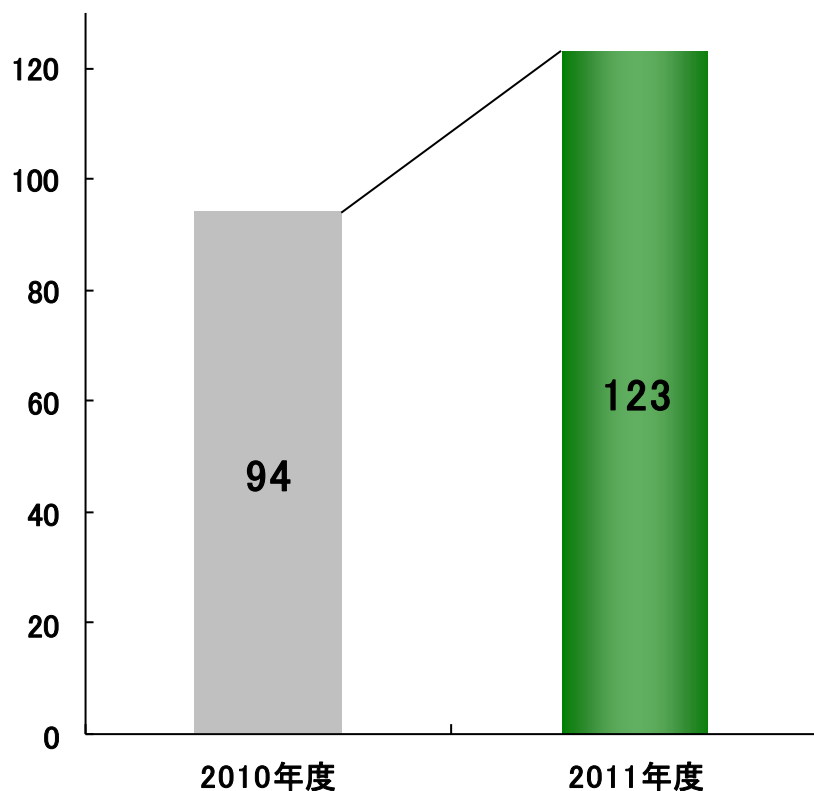
□PC・薄型テレビは不調だが、スマートフォン及びタブレットPCなどの小型情報端末の需要は堅調

□リジッドの低価格品(中国市場向け)は前期比約20%増(販売数量)

□市場別では韓国市場が比較的好調だった(販売数量)

売上高

(単位: 億円)

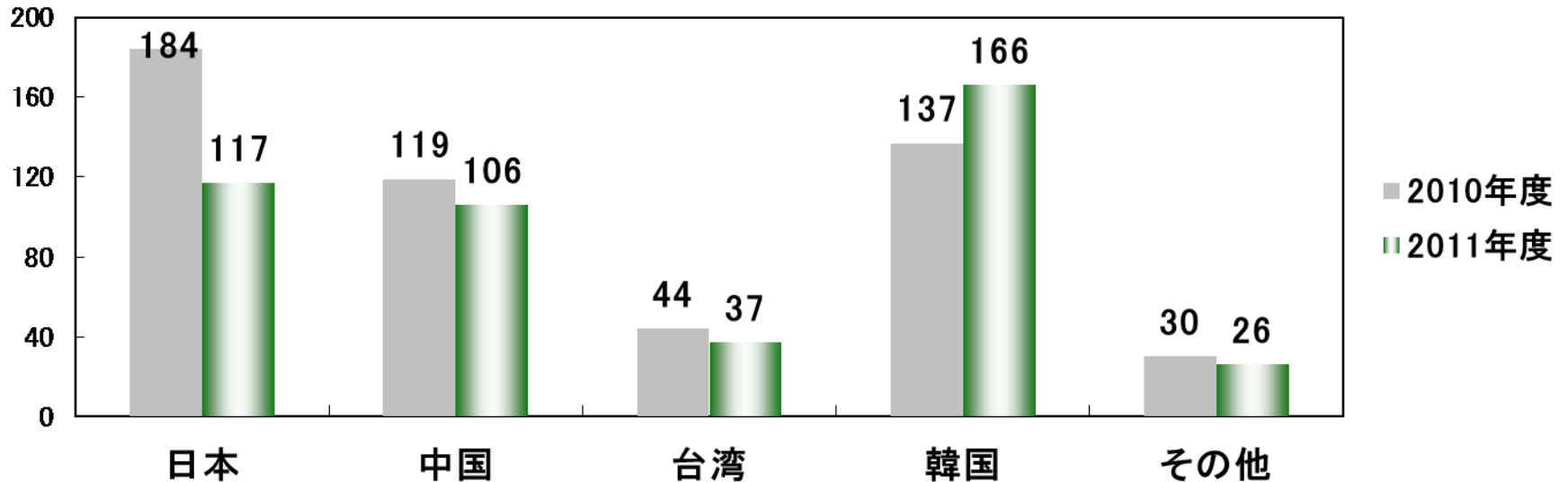


- 銀価格高値安定により、過去最高の売上
- 中国向けの販売数量は増加

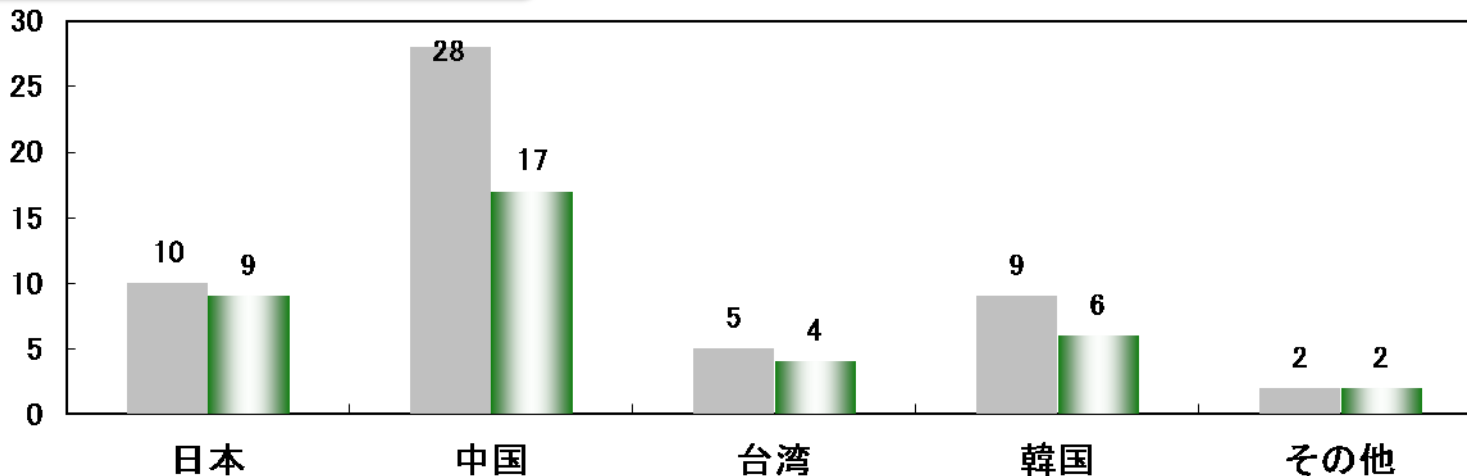
2011年度 セグメント売上・利益

売上高

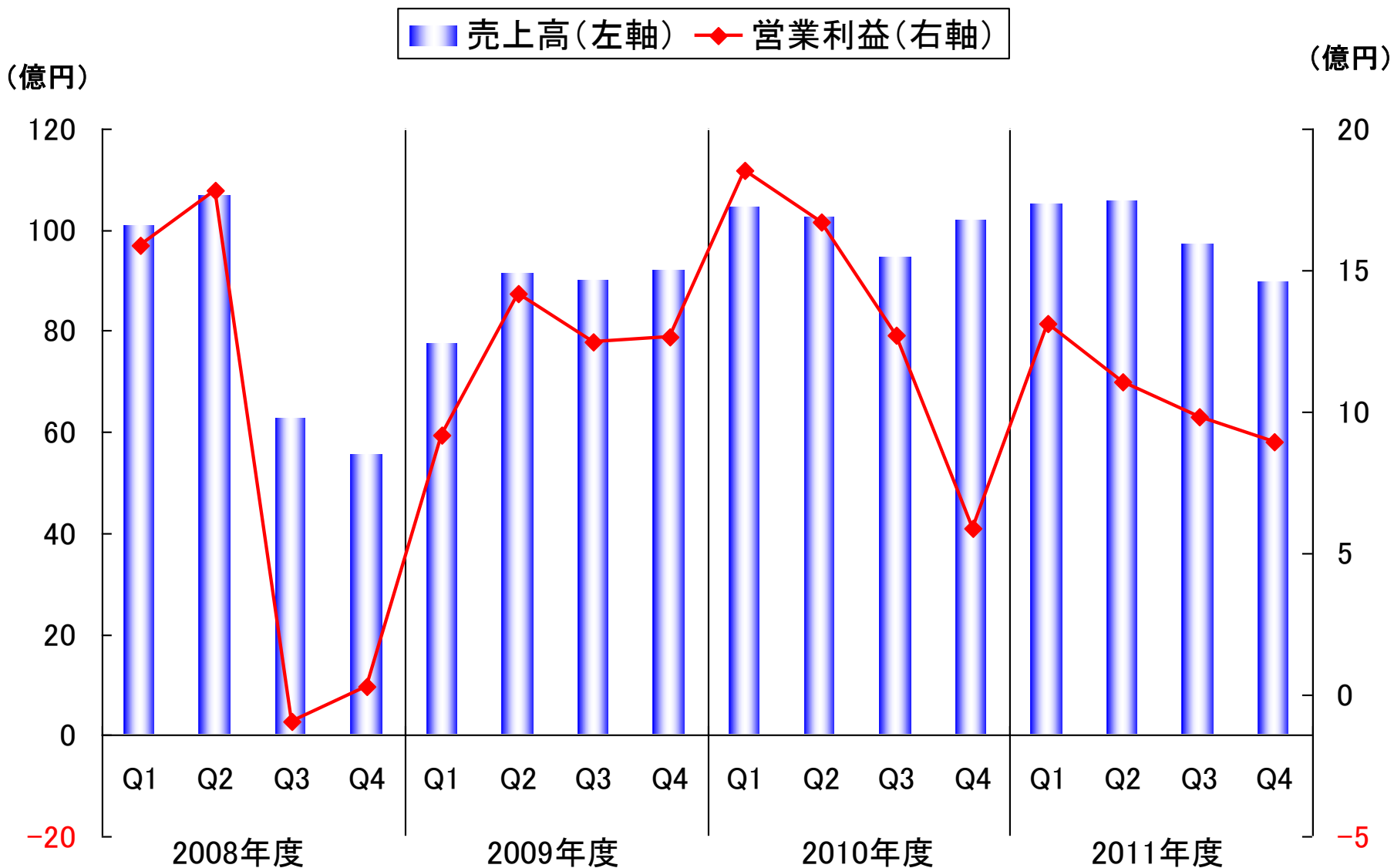
(単位:億円)



営業利益



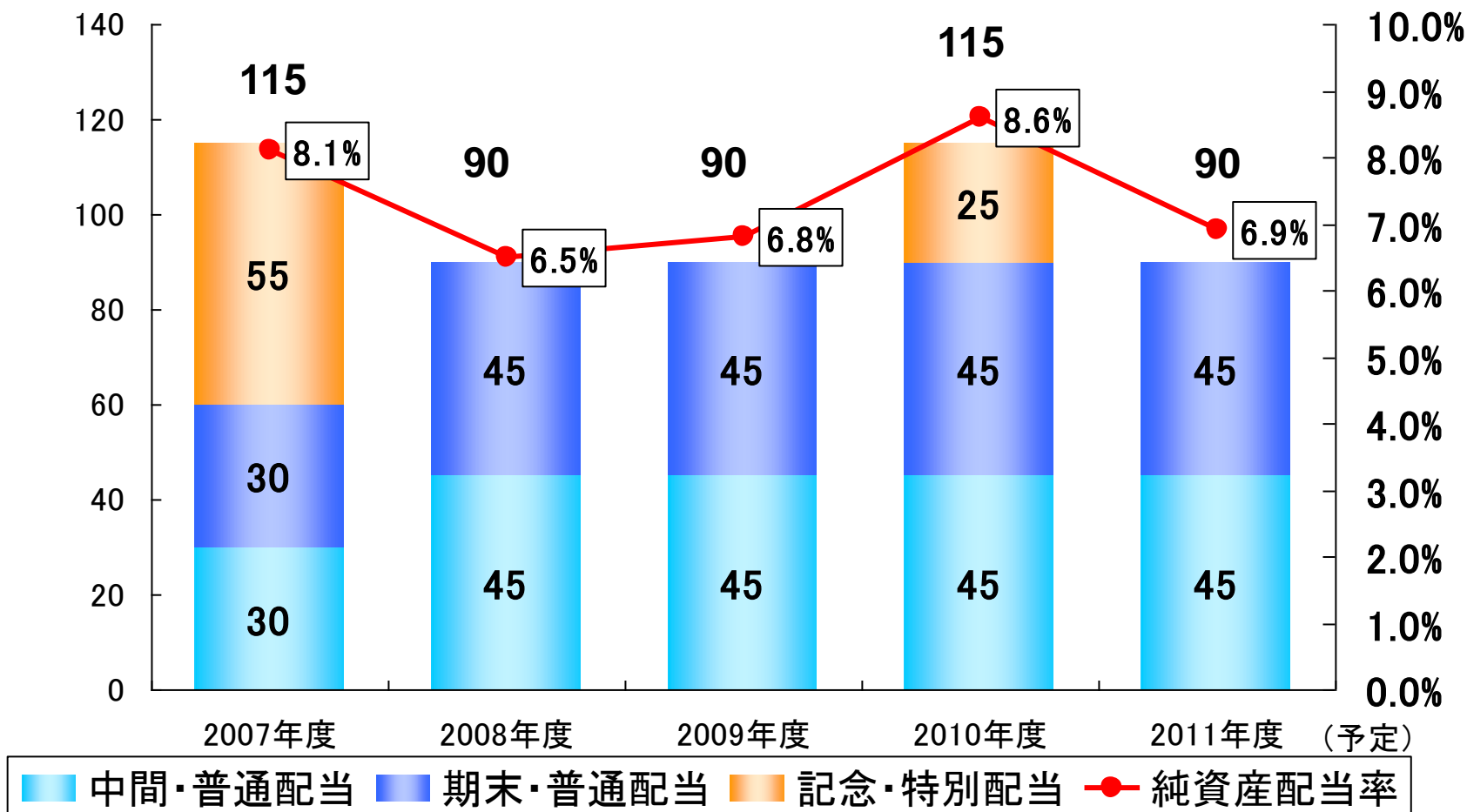
四半期別の推移



- 中国の事業環境変化等により、投資効果が計画策定時を大きく下回ることが中止の要因
- 関係会社株式評価損(特別損失)421百万円計上
- 今後の需要増は当面、太陽蘇州で対応。なお、太陽蘇州へのリスク集中回避策(BCP)を現在策定中。

株主還元

(円) □ 配当方針に変更なし。



2. 2012年度 連結業績予想

2012年度 連結業績予想

(単位:百万円)

項目	11年度 実績	12年度 予想	増減額	増減率
売上高	39,797	40,500	703	1.8%
PWB等	27,490	29,500	2,010	7.3%
FPD	12,307	11,000	△1,307	△10.6%
営業利益	4,040	4,500	460	11.4%
経常利益	4,027	4,500	473	11.7%
当期純利益	2,502	3,200	698	27.9%
円・USDレート	79.3	80.0	0.7	0.9%

PWB

- 中国・ASEAN中心に市場は回復
- 販売数量は約10%の回復を見込む(2010年度水準)
- 低価格品のシェア拡大を図る
- 穴埋めインキ、マーキング、フレキ等にも注力

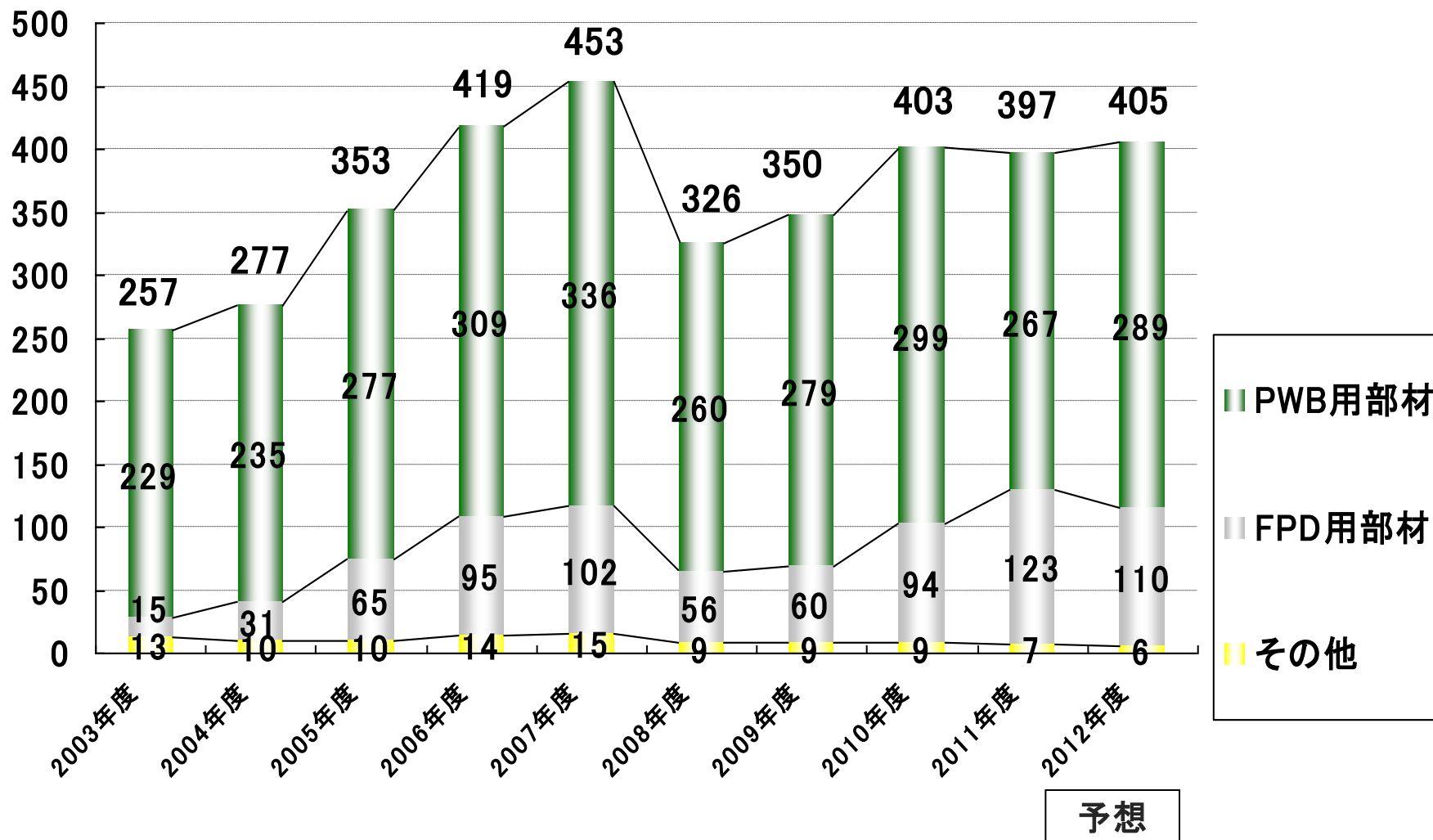
FPD

- PDP用部材は中国向け中心に拡大図る
- 韓国市場は縮小見込むも、シェア拡大で数量維持を目指す
- タッチパネル用部材は4月に生産・販売・開発を一体化した新組織を立ち上げた。売上拡大を目指す

連結売上高(PWB等・FPD)の推移

売上高

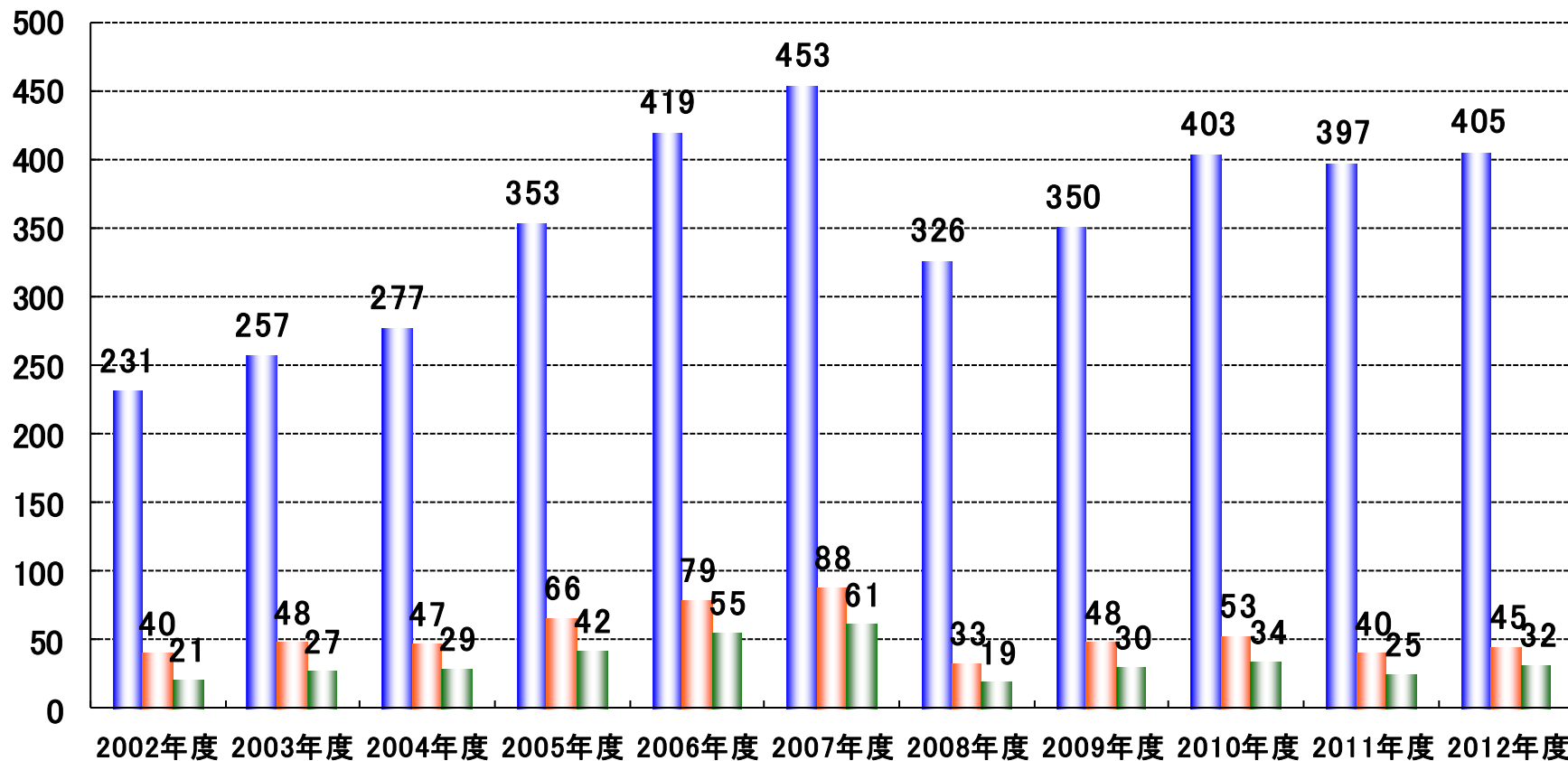
(単位:億円)



連結業績の推移

(単位:億円)

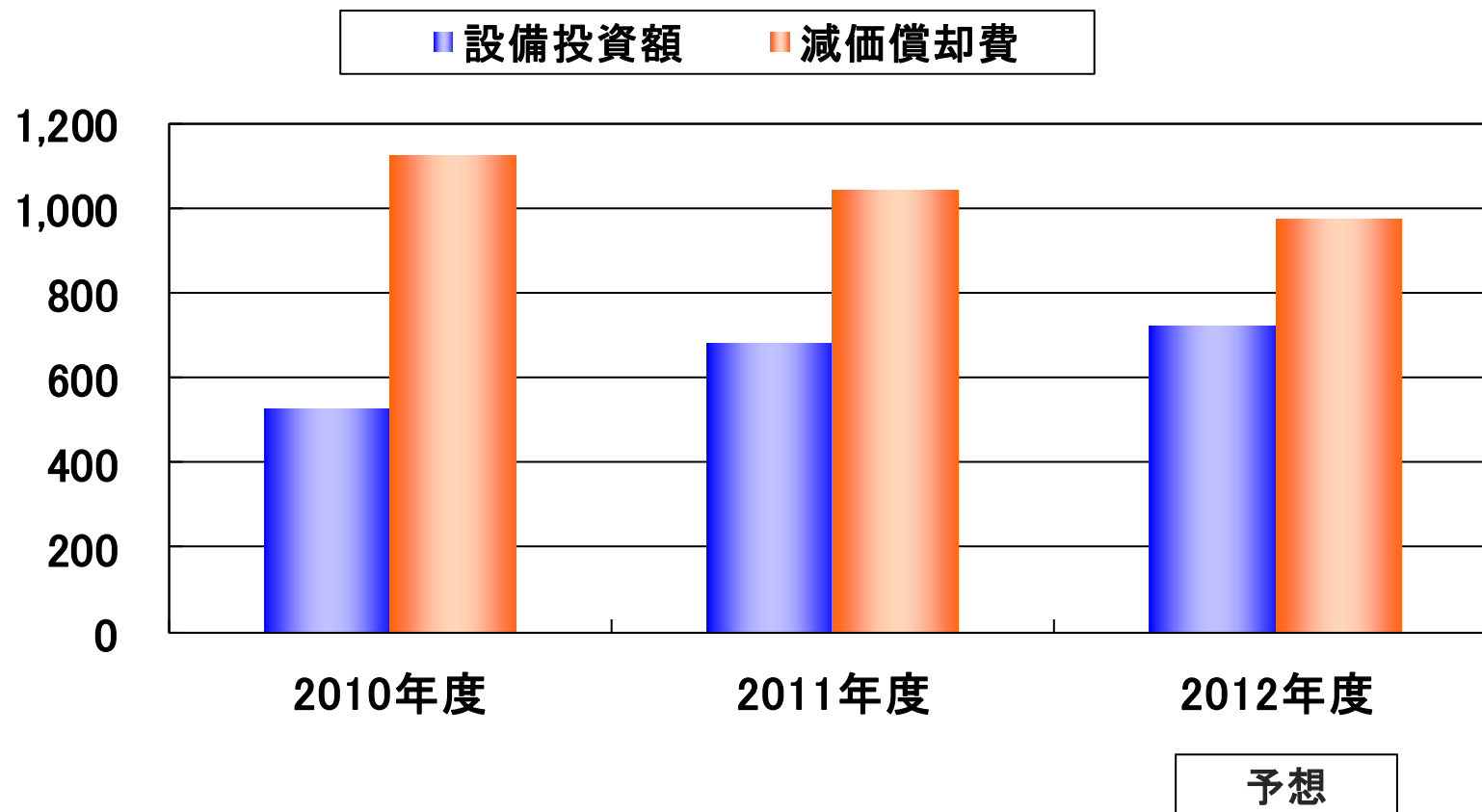
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益



予想

設備投資と減価償却費

(百万円)



3. 中期経営計画の進捗状況

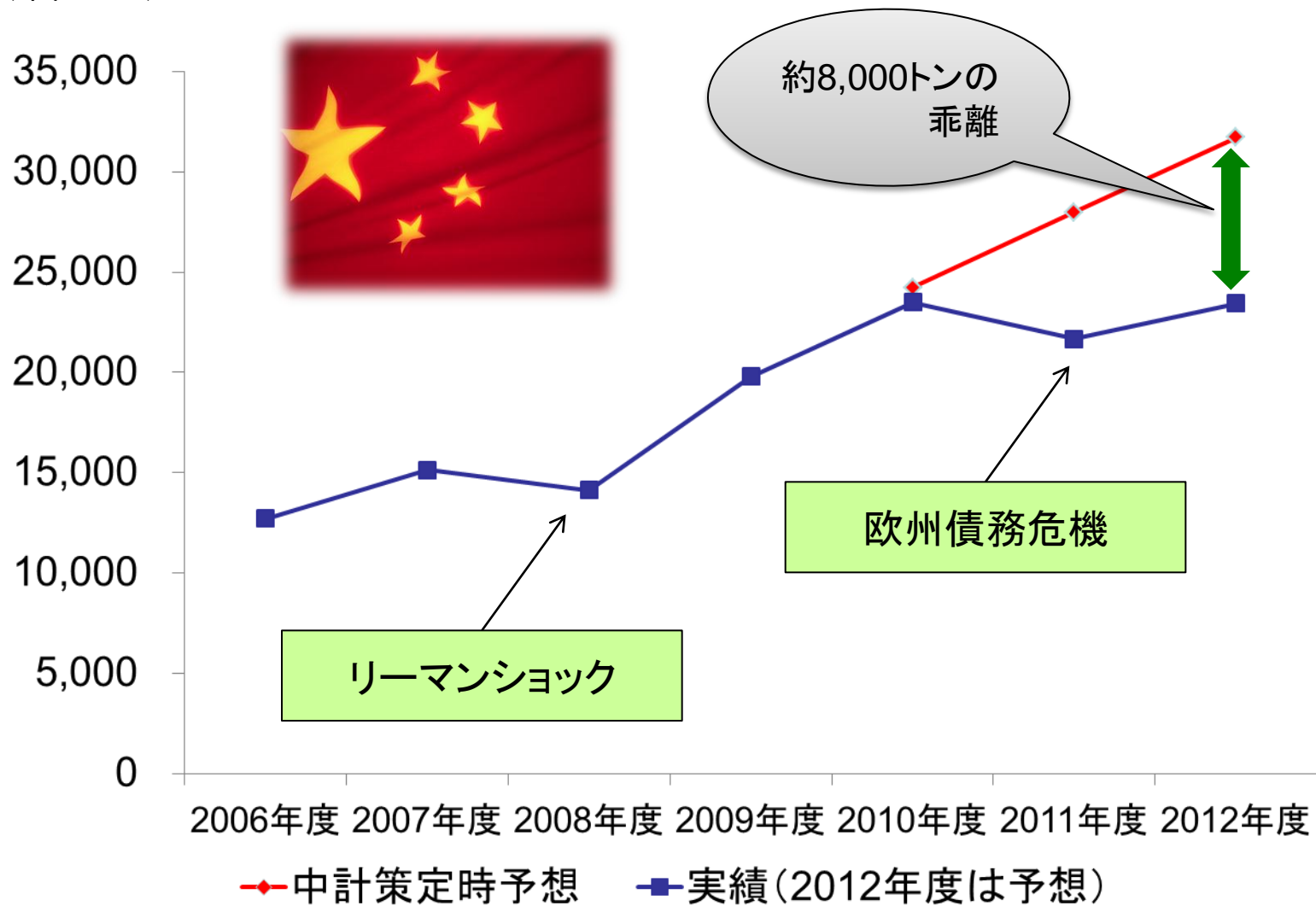
業績予想と中計の差異

□中計の目標達成は困難。ただし、新製品売上は達成率高い。

	13年3月期 予想	中期計画	差
売上高	405億円	480億円	△75億円
PWB等	295億円	385億円	△90億円
FPD	110億円	95億円	15億円
営業利益	45億円	77億円	△32億円
営業利益率	11.1%	16.0%	△4.9%
新製品・新分野売上高	38億円	40億円	△2億円

中国のSR市場推移

(単位:トン)



中国市場戦略

- 低価格品で競合より一部の顧客を奪取
- シェアは微増。しかし、ターゲット顧客の試作品評価が進み、今期以降期待
- 営業増員により顧客密着営業の強化

“地産地販”戦略

- 震災影響により海外子会社への生産移管が進んだ
- 海外子会社の原材料現地調達比率拡大(通期約50%)
- 円高対策として原材料の日本への輸出推進

新製品開発戦略

- 前期の新製品売上高25億円（目標24億円）
- 白色SR、黒色SR、スルーホール用銀ペースト等の売上が増加
- 中計最終年度（13年3月期）は38億円の目標

グローバル人材戦略

- 海外現地社員の現地子会社の幹部・役員登用拡大
- 海外人材の本社取締役への登用

□ 現在、2016年度を到達点とする新中期経営計画を策定中

□ 「スピード&コミュニケーション」をキーワードに、新たな成長戦略を構築

□ M&Aの積極的推進

